

第5回因北中学校区小中一貫教育校準備委員会

- 1 日 時 令和8年2月20日（金） 19:00～20:00
- 2 場 所 因島総合支所 多目的会議室
- 3 出席者 因北小学校長、重井小学校長、因北中学校長、重井中学校長
 因北小学校PTA会長、重井小学校PTA会長代理
 因北中学校PTA会長、重井中学校PTA会長
 中濱教育総務部長、小柳学校教育部長、榎原因島瀬戸田地域教育課長
 安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
 （司会：宮崎学校経営企画課企画振興係長）
 準備委員会PTA役員5名
 事務局9名

4 進 行

担 当	内 容
小柳委員長	<p>（19:00 開会）</p> <p>1 委員長から第4回準備委員会以降の進捗状況の報告</p> <p>準備委員会だよりN.4を、令和8年1月13日（火）に発行した。保護者の方、地域の方、議員に提供し、尾道市ホームページにも掲載している。</p> <p>その他、報告する事項はなかった。</p> <p>（質問等なし）</p>
総務等検討部 会長（因北小 小学校長）	<p>2 各部長から部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会</p> <p>第3回総務等検討部会について報告する。</p> <p>会議は1月21日（水）、因北中学校研修室において午後7時から開催した。</p> <p>12月12日（金）に開催した、第4回準備委員会の報告をさせていただき、総務等検討部会に対して、令和8年度の施設整備方針の確認と、因北中学校の施設見学について、検討依頼があったため、第3回総務等検討部会を招集した旨を報告した。</p> <p>「施設整備について」である。施設整備については、事務局から、まず、第2回総務等検討部会で出された質問に対する回答があった。</p> <p>1点目は、「廊下の長尺シートの耐久性について」である。メーカーに問い合わせたところでは、材料・品質上による不具合に対しては10年</p>

保証がついており、通常使用する範囲内であれば、定期的に清掃することで長く使っていけると考えていると回答があった。

2点目の「屋内トイレの仕様について」の質問に対しては、男子は小便器6基、洋式の大便秘器2基、女子は洋式の大便秘器5基で計画しているとのことだった。

3点目の「給食用リフトの状況について」の質問に対しては、給食用リフトは、旧因島市が尾道市と合併した平成18年以前から止まっていたことは分かったが、明確な年度は不明で理由も確認できなかったこと、再稼働については、停止から20年以上が経過しておりメンテナンス等の諸課題もあることから、現状では難しいと考えていると事務局から回答があった。

続いて、令和8年度の施設整備方針についてである。改修スケジュールは、小学校については1号棟及び2号棟の改修を令和8年度に実施し、3号棟の改修は令和9年度に計画していること、中学校については全ての改修を令和8年度に計画していること、また、施設整備に係る予算については2月に開かれる尾道市議会に上程していく予定である旨、事務局から説明があった。

続いて、「因北中学校の施設見学について」である。出席者全員で因北中学校の施設見学を行った。施設見学の後に意見交換を行い、出席者から3点、質問や意見をいただいた。

1点目は、「階段の手摺が両側についていないが増やさないのか、また、表面の塗装が剥がれているが塗れないのか。」との質問で、事務局から「手摺の設置については改修計画にないが、ご意見として承って帰る。また、手摺の塗装については、技術員で対応できるか相談してみたい。」と回答した。

2点目は、「理科室や調理室のガス検知器が古いのではないか。定期的に点検しているのか。」との質問で、事務局から「安全安心を第一に学校運営しているので、必要があれば交換する。施設の点検は定期的実施している。」と回答した。

3点目は、「校舎のひび割れが危ないと感じた。」との意見で、事務局から「今回の改修の中で対応は行わないが、該当箇所については、専門分野の職員にも確認してもらっており、状況を注視しながら対応を検討していく。」と回答があった。

次の開催日程については未定だが、因北小学校で19時から開始することを確認した。第3回総務等検討部会の報告は、以上である。

小柳委員長

事務局から補足があればお願いします。

<p>総務等検討部 会事務局（小 田因島瀬戸田 地域教育課地 域教育係長）</p>	<p>施設整備に関して、事務局から補足説明させていただく。</p> <p>まず令和7年度実績である。はじめに、学校再編に係る今年度改修等の進捗状況を報告させていただく。今年度は、令和8年度からの因北小学校の改修に係る事前準備として、3件の業務を実施した。</p> <p>1件目は、特別教室の机、家庭科室の調理台を7台、理科室の実験台を7台取り替えた。</p> <p>2件目は、屋内運動場の屋根について、雨漏り対策と全体的な塗装による修繕を行った。</p> <p>3件目は、空調設備のない教室6室への空調の整備である。こちらについては、3月までの業務として、現在作業を行っている。進捗状況については、以上である。</p> <p>また、小学校の施設改修に係る設計については、1月末で終了した。</p> <p>次に、施設整備にかかる予算については、尾道市議会定例会において、小・中学校合わせて、約3億円の改修事業費について予算を上程し、一昨日の2月18日（水）に可決されたので、具体的な改修内容について報告する。</p> <p>小学校の改修内容については、1・2号棟を対象として、教室の床、ロッカー、内部建具の改修と、各棟に1箇所ずつトイレを整備し、廊下床と階段手摺の改修を計画している。屋内トイレの改修については、前回まで1号棟に1箇所整備する計画とお伝えしていたが、学校やPTAからトイレ増設要望をいただく中で、屋内トイレを各棟に1箇所ずつの計2箇所に増やす計画に変更した。併せて、校舎内の全ての照明器具を、蛍光灯からLED照明に交換する。</p> <p>次に、中学校の改修内容については、教室のロッカー、内部建具の改修と、1階から3階までの男女トイレの洋式化と乾式化及び多目的教室の空調整備を計画している。</p> <p>また、小・中学校ともに、尾道（因島）らしさのある9年間の学びの創造に向けて、ワーキングルーム等を整備する計画としている。</p> <p>なお、これらの改修については、部会長報告にもあったが、小・中学校ともに令和8年度に実施する計画としている。小学校の3号棟については、令和9年度に改修する計画としている。</p> <p>最後に、今後の事業スケジュールについて説明する。</p> <p>小学校の改修については、令和8年度のなるべく早い時期から開始したいと考えており、現在準備を進めている。作業は1号棟から開始し、次に2号棟の順で行っていく計画としている。改修は棟ごとで行うので、作業が始まるまでには、教室を移動していただく必要がある。移動のス</p>
---	---

<p>小柳委員長</p>	<p>ケジュールについては、学校側と現在調整中である。</p> <p>中学校の改修については、極力、夏季休業等を有効に使い、教室の移動をしない方向で考えている。</p> <p>児童生徒や教職員の皆さんには、改修作業が終了するまでの間、ご負担をおかけすることになるが、できる限り早期に、かつ学校運営に支障が出ないよう作業を進めて参りたいと考えている。</p> <p>施設整備に関する補足説明は、以上である。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>たくさんの情報が入ったので分かったことも分かりにくいこともあるだろうが、今年度因北小学校の改修を予定していた分は、3件すべてできたということ。来年度は因北小・中学校のそれぞれの校舎の改修費用として総額3億円の予算がつき、保護者の皆様、学校の要望にかなり応えることができる金額を頂いているので、来年しっかりと着手できるのではないかなというような中身だったと思う。</p>
<p>生徒指導等検討部会長（因北中学校長）</p>	<p>○生徒指導等検討部会</p> <p>令和8年1月29日（木）に因北中学校で、第5回生徒指導等検討部会を開催した。委員会資料3をご覧いただきたい。</p> <p>1月20日（木）に開催した第4回生徒指導等検討部会における協議内容について、資料1に基づき確認した。また、12月12日（金）に開催した第4回準備委員会において、この協議内容を踏まえて報告を行い、その後4つの提案全てについて全会一致で議決されたことを、資料2に基づき確認した。</p> <p>続いて、縦2の第4回準備委員会での検討依頼内容についてだが、12月12日（金）に開催した第4回準備委員会において、生徒指導等検討部会へ依頼された検討事項について、資料3に基づき確認した。</p> <p>縦3の検討事項については、まず（1）「学校規定品等（制服・体操服以外）の方向性について学校からの提案」について、資料4-1・4-2に基づき、以前の生徒指導等検討部会で出された意見も踏まえ、4校の校長で検討した方向性について提案した。</p> <p>まず、小学校の規定品等について、次のとおり提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因北小学校のものを引き続き使用するのは、制帽と名札である。制帽は男女兼用とし、キャップ型を使用する。 ・赤白体育用帽子は変更なしである。 ・上履きシューズは平ゴムタイプとし、布部分が白であれば、つま先の

色は問わない。

- ・通学・運動シューズは白地・白ラインのものとする。
- ・通学カバンは現行通りランドセルとする。
続いて、中学校の規定品等について、次のとおり提案した。
- ・因北中学校のものを引き続き使用するの、体育館シューズ、通学カバン、サブバック、名札である。令和9年度以降のサブバックには校章は入れない方向で検討している。
- ・ウインドブレーカーは令和9年度入学生より新たなものに変更する予定だが、詳細は今後検討していく。
- ・自転車通学時に着用するヘルメットは、令和8年度から学校規定品とはせず、SGマークなどの安全性を示すマークの付いたものであればよいこととする。
- ・室内上履きシューズは、学校規定品としてメーカー指定しているが、令和9年度から三角ゴムタイプで色が白のものであればよいこととする。
- ・通学・運動シューズも現在学校規定品としてメーカー指定しているが、令和9年度からは通学や体育に適した白地・白ラインの運動靴であればよいこととする。

この提案について、

- ・小学校の制帽は、キャップとハットのどちらか選択可能としてほしい。また、赤白帽子でもよいのではないか。
- ・中学校の体育館シューズは、メーカーを指定して、指定業者で購入しなくてもよいとしてほしい。
- ・制服や体操服の移行期間を長めに設定してほしい。
- ・ウインドブレーカーは夜道でも目立つように、白色がいいのではないか。

などの意見・要望が出された。

これら学校から提案した学校規定品等の方向性については、今年度中に各PTAで協議していただく予定となっている。その報告を4校長で検討する。その後、その内容を、次回第6回の生徒指導等検討部会で報告する予定である。

続いて、検討事項（2）の「通学支援バスの方向性について」、事務局から令和9年度以降の重井在住の児童の通学支援について、バス事業者と協議を行った旨の報告があった。報告内容は、

- ・路線バスを活用した通学支援を行うことで進めていること。
- ・路線の開設は、学校再編に合わせて、令和9年4月の予定であること。
- ・ルートや運行時間帯については、現在検討している段階であること。

<p>小柳委員長</p>	<p>・現在、学校選択制度を利用して、因島重井町から因北小学校に通学している児童についても、令和9年度から通学支援の対象となること。というものだった。</p> <p>この報告について、4つの意見、要望が出た。その内容とそれに対する教育委員会の回答を報告する。</p> <p>1つ目、学校選択の児童は通学支援の対象となるか。これは、対象とはならない。</p> <p>2つ目、中学生は通学支援の対象となるか。これも、対象とはならない。</p> <p>3つ目、通学支援バスは、対象の児童は無料で乗車できるのか。こちらは、保護者の費用負担はないとのことだった。</p> <p>4つ目、通学支援バスの運行時刻の要望は出せるのか。これは、要望はできるとのことだった。</p> <p>令和9年度に、児童が安全にバス通学ができるよう、事務局が中心となり、引き続き、バス事業者などと協議をしていく。</p> <p>また、その他として、1月22日（木）に第1回制服等検討委員会が開催され、中学校の制服について制服製造業者のプレゼンテーションが行われた。その結果、業者が選定されたことを報告した。</p> <p>第5回生徒指導等検討部会の報告については以上である。</p> <p>ただいまの報告について質問等があればお願いします。</p>
<p>重井中PTA 会長</p>	<p>通学支援でバスルートを決めるとなっているが、バス停の整備等を含めてルート設定をするのか。小学校低学年もいると思うので、ただ道路端にバス停があるというだけじゃなくて、ある程度通学路として、待っている間に安全なところとして、バス停の整備や選定などを考慮していただきたい。</p>
<p>事務局（山本 学校経営企画 課企画振興係 主任） 小柳委員長</p>	<p>バス停については、既存のバス停を利用するとバス事業者からは聞いている。バス停の待つスペース等を整備できるかということについては、バス事業者と引き続き協議をしていく。</p> <p>バス停も通学路の一部なので安全整備は大切だと思う。整備の方もバス事業者に確認しながら進めていかなければならないと思う。その他に質問はないだろうか。</p> <p>(その他質問等なし)</p>

<p>教育課程等検討部会長 (重井中学校長)</p>	<p>今バスの件もあったが、来年度は更に詰めていくようになるので、もっと明確になってくれば、保護者の皆様にも情報提供させていただきながら、一緒に協議をさせていただくようになると思う。</p> <p>○教育課程等検討部会</p> <p>令和8年2月9日(月)に重井中学校で、第3回教育課程等検討部会を開催した。12月12日(金)に開催した、第4回準備委員会の報告を行い、教育課程等検討部会に対して、令和8年度に実施する児童間交流の内容や時期の検討、小中一貫教育校の学校教育目標、校訓、目指す子ども像について検討、小中一貫教育校の資質・能力の検討について、検討依頼があったため、第3回教育課程等検討部会を招集した旨を報告した。</p> <p>次に、教育委員会・4小中の校長で協議をしてきた小中一貫教育校の学校教育目標・校訓・目指す子ども像について、その策定の協議過程を振り返り、報告した。これらについては、後ほど小柳委員長から報告をしていただく。</p> <p>続いて、①令和8年度に実施する児童間交流について、②資質・能力の検討、③2月16日に行われた重井地域・因北地域学校運営協議会合同ワークショップに向けて、の3点について検討を行った。</p> <p>因北小と重井小の対面による児童間交流については、令和8年度に全校での交流を年3回予定している。1学期は6月に、自己紹介や体育活動、レクレーション、そして一緒に授業を受ける場面などを考えている。2学期は9月に各学年で体験交流活動、3学期は1月に因北フェスを一緒に行いたいと考えている。また5年生については野外活動に関わって交流することを予定している。</p> <p>今年度行っているオンラインによる児童間交流については、計画通り実施済みである。オンラインでお互いに顔を見て質問し合ったり、交流し合ったりすることで親しくなることができた。児童は来年の対面での交流を楽しみにしている様子であった。</p> <p>育成したい資質・能力については、「社会性(人と関わる力)」「主体性(自分で考えて行動する力)」「表現力」等を考えているが、3月末までに4小中校長で確認して決定したいと思う。</p> <p>次回は各校の総合的な学習の時間に学んでいる内容を踏まえて、各学年の教育活動を検討していきたいと考えている。</p> <p>また、2月16日(金)に行われた重井地域・因北地域学校運営協議会合同ワークショップでは、学校運営協議会委員の皆様や4小中の教職</p>
--------------------------------	--

小柳委員長	<p>員が一堂に会し、開校に向けての取組経過や育成したい子どもの姿を共有する会となった。</p> <p>報告は以上になる。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>来年小学校の方では、学期に一回ずつ重井小の全校児童が因北小に行って対面交流をするという計画があるということと、5年生でしている野外活動に関しては一緒に行く、という中身だったと思う。さらに交流が深まっていけば、スムーズに令和9年度を迎えられるのではないかとということで、計画をしているようである。</p>
小柳委員長	<p>3 報告事項について</p> <p>因北中学校区小中一貫教育校の学校教育目標、校訓、目指す子ども像について報告させていただく。</p> <p>取組の経過についてだが、10月から4小中学校の校長、教育委員会職員で案を持ち寄り、協議を進めた。1案に絞り、その後、教育課程等検討部会、重井地域因北地域学校運営協議会合同ワークショップ（教職員と学校運営協議会委員）を開催し案について了承をいただいたと聞いている。また、教育委員会委員からも案について了承いただき、本日の報告に至っている、ということを取組の経過として報告させていただく。</p> <p>校訓については、現在4小中学校の中で重井中学校しかない。しかし、新たに小中一貫教育校としてスタートするにあたり、校訓は、児童生徒、教職員、保護者・地域で価値観を共有し、学校教育目標の実現に向け一致団結して取り組みを進めることができると考え、定めることとした。</p> <p>学校教育目標は「自ら学び 仲間とともに 未来を創る児童生徒の育成」、校訓は「自律 敬愛 共創」、目指す子ども像は「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子ども」とした。</p> <p>学校教育目標、校訓、目指す子ども像ともに、これまでの4小中学校で継承されてきた文化や伝統、子ども像や地域との関係性等を考慮しながら、熟考を重ね出来上がったものである。</p> <p>今後、この学校教育目標、校訓、目指す子ども像を、学校、保護者、地域、教育委員会が共有し、重井・因北中学校区の一体感の醸成や、新しい学校作りを加速することができればと考えている。</p> <p>以上報告とさせていただきます。</p> <p>(質問等なし)</p>

<p>小柳委員長</p>	<p>学校教育目標、校訓、目指す子ども像を一つの旗印のようにして、加速させていければと思う。</p> <p>4 議決事項について 今回は議決事項がないため次に進む。</p>
<p>安保副委員長</p>	<p>5 各部会への検討依頼の内容について 総務等検討部会への検討依頼はない。 生徒指導等検討部会については、学校規定品等（制服・体操服以外）の方向性について、現在学校から提案されたものを受けて、各PTAで協議していただいているところなので、次回の部会で意見をまとめて、準備委員会で報告していただければと思う。 教育課程等検討部会への検討依頼はない。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>年度をまたぐため、検討していただくことも難しいと思い、このようになっている。</p> <p>(質問等なし)</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>6 情報交換 (PTAと校長グループに分かれて情報交換をする)</p> <p>7 第6回準備委員会での協議事項 今回は、新年度初開催ということになるので、令和8年度準備委員会と各部会の推進体制の確認。そして令和8年度因北中学校区小中一貫教育校準備委員会年間スケジュール等の確認をさせていただいて、議論する中身があればさせていただきたいと思っている。</p>
<p>司会</p>	<p>8 その他 次回の開催は、5月中旬を予定している。19時からとしている。来年度になり、日時、場所が決まれば連絡をする。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>それでは、最後に私のほうから、お礼等を述べさせていただく。 今年度の準備委員会は、本日が最後となる。準備委員会の委員の皆様、各部会員の皆様のご理解、ご協力と参画をいただきながら、昨年5月に準備委員会を立ち上げ、これまでに準備委員会を5回、総務等検討部会</p>

<p>司会</p>	<p>を3回、生徒指導等検討部会を5回、教育課程等検討部会を3回開催することができた。おかげをもちまして、第1回準備委員会で提示させていただいた重井小中学校と因北小中学校の学校再編に係るスケジュールについて、今年度は予定通り検討が進んでいるものと認識している。</p> <p>今年度委員や部会員として関わって下さった皆様の中には、PTAを卒業される方、役職を降りられる方、来年度も委員や部会員として関わって下さる方、様々だとは思いますが、今年度小中一貫教育校の開設に向けた準備に関わって下さったこと、大変感謝している。ありがとうございました。</p> <p>来年度については、5月の大型連休明けに、準備委員会の構成メンバーが確定すると思うので、5月の中旬ごろに、第6回準備委員会が開催できればと考えている。</p> <p>今後も、学校、保護者、地域、教育委員会が一体となって「子どもたちが元気に明るく学校に通い、切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「保護者・地域から愛され、誇りに思える学校」を創ってまいりましょう。</p> <p>以上で本日の議事は終了するが、その他何かあればお伺いする。</p> <p>(その他質問等なし)</p> <p>以上で閉会する。</p> <p>(20:00 閉会)</p>
-----------	--